

1、目標（上半期参照）

2、評価

- ・子ども、保護者、職員の姿に共感し、気になる時には思いに寄り添えるよう対応してきた。コミュニケーションとる中で、感じられるよう心掛けてきた。
- ・自分の思いを相手にうまく（素直に）伝えることも難しく感じ、反省。
- ・行事に向けて自分の立場でできることは何かと考え動いていたつもりだが、各クラスの状況把握が足りなかったり、声掛けのタイミングを逃したりしていた部分もあった。
- ・他クラスと合併し、連携しながら保育することができた。大きい子も小さい子も“育ち合う仲間”（保育者も）という雰囲気が出てきた。
- ・保護者に園で大切にしていることを伝えてきたが、特に大切だと思うことは保護者の悩みや思いをまず共感することだと感じる。それが信頼関係を築き話を聞いてくれるようになるのだと思う。そのためには保護者が話をしたくなるような姿勢が大切なのだと思う。今後も意識していきたい。
- ・いやいやが出てきている子が今どんな思いやどんな気持ちなのか、子どもと向かい合い、しっかり考えて関わられるようにしてきた。自分がやりたいことと、子どもが求めていることがぶつかり子どもの気持ちにしっかり共感できなかつた時もあり反省し、子どもの気持ちに受容し共感できるようにしたい。
- ・保育士、看護師の先生と子どもの姿、様子を伝え合い、話し合いの場を持ちみんなで連携して保育ができた。
- ・衛生面、安全面に十分気を付け、日々の業務をこなすことができた。
- ・砂場遊び用具の箱にラベルを作った事で子どもが片付けやすくなった。
- ・食べ具合、喫食量だけでなく、スプーン、箸の持ち方、咀嚼の仕方を丁寧に見ていく。
- ・自己主張の激しくなった子どもたちの対応が難しい。
- ・本を読んで学ぶ意識が低く、学ぶことができなかった。
- ・余裕がなくなることも多く、全体を見て保育するということが難しかった。
- ・わからない時には聞きながら、どのように補助に入ればいいのか考えながら動けるようになってきたと感じる。
- ・自分の弱点を克服できるよう、自らその場を作り保育することで自分の成長を感じる事ができた。
- ・他の人の関わり方を見て、自分を振り返り、参考にしてきた。

3、任務に対して

- ・建設、補助金、保育に関わる事の昨年以上の重圧に心折れそうになっても前を見て進んできた。
- ・周りの人の力を大いに借りられたからこそ何とかここまでやってこられたと感じている。
- ・代替として、各クラスのその時のこどもの成長に応じながらの対応が難しい。そこは担任とのコミュニケーションも大切だと思う。
- ・子どもたちへの関わりや働く上で素敵だなと思ったことを前より言えるようになり、一緒に考えながら保育できているように思う。

- ・保育中、保育士の思いと反することをすることもあったようだが、話し合いお互いの思いを伝えあうことができた。
- ・職員、保護者と一緒に子育てを楽しみ考え、悩みを共感して、子育ての楽しみを共有できた。
- ・自分が中心となっていないところにも気付けるように意識していく。
- ・気づいたことを自分の言葉で伝えることは課題。
- ・子どもたちに向かって今から何をするのか、見通しをもった言葉かけができず不安や自信がなく声が小さくなることもあった。子どもたち、他の先生たちに伝わるように気を付けたい。
- ・保育に入っている時期だったので吐物処理セット、散歩バック（救急セット）のチェックがなかなかできなかった。

4、次年度に向けて

- ・建設がスムーズに進むように。
- ・保育、職員との協力、コミュニケーションを取り、互いに認め合える職場づくり。
- ・尊重する、話し合っで決める、仲間づくりをすることを大切にしていく。
- ・各クラスの様子を掴みながらも全体のバランスを考えていきたい。
- ・子どもが自分で考えて行動できるような関わりを大切にしたい。
- ・子ども姿をしっかりと伝え、子どもを真ん中に不安や悩みを一緒に考え保護者の気持ちを考える。
- ・子どもを中心に保育を展開。子どもの姿を受け止め、行動の裏にある気持ちを考える。
- ・心地よいやり取りや子どもが生活しやすい環境を整える。
- ・体調管理！ダメな時は十分な休息をとる。

5、日ごろ感じていること

- ・職員集団と資質向上、働き方改革、働きやすい職場とは…
- ・職場の中の信頼関係とは、認め合っで長く付き合っでいくからこそ生まれる。余裕持っで働くっで大切ですね。
- ・先生として頼られ、安心基地として寄っできてくれることが嬉しく思う。
- ・自己学習が最近できず、もどかしい。
- ・事務の軽減、休憩時間がとれて時間外が減るといい。・仕事とプライベートのバランスをうまくとる。